

# えんばわ

72  
号

Empowerment For All  
エフアージャパン

特集

エフアの20年  
これまで・これから





2024年エファは設立より20年目を迎えます。これまでお支え  
いただいた多くの皆さまに感謝の念を禁じえません。今号のえん  
ばわでは20年間の事業を振り返りながら、これからの未来に向け  
たエファの思いをお伝えします。

Vol.72 CONTENTS

03	エファの20年 これまで・これから 特集	エファジャパン設立 —アジア子どもの家プロジェクトからエファジャパン設立へ—
05		20年の歩み 2004年～2013年
07		20年の歩み 2014年～2023年
09		真に包摂した教育や社会とは何かを学び、行動する
11	サバイディー(ラオ語で「こんにちは」)	
12	アジアまちかどライブラリー —カンボジア—	
13	アジアまちかどライブラリー —ラオス—	
14	ムペアック(クメール語で「仲間」)	

今号の表紙

昨年、クラスで1番の成績を取めた知的障害者のポリーさん。「やれば  
できる」と自信が生まれ、未来への希望につながっています。  
(目次写真 ラオスでの移動図書館活動)



ラオス



## 子ども文化センター

**開 所** 1996年7月  
**所 在 地** 首都ビエンチャン都  
**建物の概要** 総床面積1,053㎡(コンクリート2階建て)

### 事業目的

ラオスの経済と社会の、現在と将来のため、子どもの権利を守るための人材育成の一環として、子どもの文化と教育活動を実施

## エファジャパン設立



ベトナム子どもの家刺繍訓練教室2

ベトナム

## 子どもの家

**開 所** 1995年8月  
**所 在 地** ハイフォン市  
**建物の概要** 総床面積30,294㎡  
(コンクリート3階建て)

### 事業目的

虐待児童、児童労働を課せられている子どもなど、困難な状況にある児童に対して、衣食住の提供、初等教育、職業訓練、仕事の紹介などを行い、児童が保護者・地域とともに安定して生活ができるための基盤を整える。



アジア子どもの家プロジェクトから  
エファジャパン設立へ

1994年2月、全日本自治団体労働組合(自治労)は結成40周年を記念する国際協力事業として「アジア子どもの家」プロジェクトの取り組みを決定。資金援助や箱もの援助にとどまらない、「一般組合員の直接参加」による、子どもを取り巻く課題に対する継続的な協力活動の展開を目指すことを目的にスタートしました。日本のNGOや各国の政府機関・地方機関との提携協力のもと、3カ国で子どもの家プロジェクトを展開しました。

カンボジア

## 子どもの家

**開 所** 1997年5月  
**所 在 地** 首都プノンペン市  
**建物の概要** 総床面積149,599㎡(コンクリート2階建て、一部平屋建て)

### 事業目的

カンボジアの幼児教育の質的な向上と地方への波及効果の促進のため、モデル幼稚園の運営と児童館活動を実施



アジア子どもの家プロジェクトは2003年3月をもって支援を終了しました。プロジェクトの実施開始から終了までの約8年間で、1,067人もの自治労組合員が現場を訪問し、交流、研修に参加しました。2004年10月、子どもの家プロジェクトの経験を受け継ぎ、平和・人権・開発・環境などの地球的規模の諸課題に対して、市民が主体的かつ直接参加できる活動を実施し、地球社会の課題の解決と公正な発展に寄与することを目的としてエファジャパンが設立されました。



【カンボジア】カンボジアとタイとの国境で起きた武力衝突で避難を余儀なくされた子どもの保護活動を支援

2011年

【ラオス】ラオス図書館協会の運営能力強化支援を開始

【カンボジア】紛争により公教育が遅れている地域での寺子屋教室を支援

2012年

【日本】古本リサイクル募金開始

【ベトナム】ベトナム子どもの家が、児童ソーシャルワークセンター(児童福祉事務所)に改編

2013年

【ラオス】カムワン県の少数民族学校に文房具などの教材を寄贈

【ラオス】ドンクワイ村小学校図書館建設

【カンボジア】プノンペン市とプレアビヒア州の児童保護施設の日用品等の支援開始

エピソード・現地からの声

ソクニラン・アカヴォングさん(小学校5年生、10歳)  
「ソクニラン・アカヴォングさん(小学校5年生、10歳)が全然大きく読んでいます。僕はたくさん本を読んで、よいことを学んでいきたいです」

「僕は毎日図書館に来てます。先生が図書館の鍵を開けた瞬間に、図書館に飛び込むようにしています。絵本の色とりどりのイラストを見るたびにわくわくします。時々、本を借りて、週末は本を読んで過ごします。本を読んでいる人と、読んでいない人では、知っていることの量が全然違います。僕はたくさん本を読んで、よいことを学んでいきたいです」

2010年ラオス・タトーン村小学校図書館建設



2004年

10月12日 エファジャパン設立。イーデス・ハンソンさん(現・顧問)が初代の理事長を務めました

2005年

【カンボジア】国立幼稚園教員養成学校附属幼稚園児への奨学金事業を実施

特定非営利活動法人認証

2006年

【ベトナム】「子どもの家」の近くにある「ホンパン愛の家」(児童保護施設)の生活状況改善支援実施

【ラオス】ビエンチャン都立図書館・多目的ホール完成

2007年

【ラオス】カムワン県とシェンクワン県の子ども文化センター支援

【カンボジア】スラムの子どもたちのための寺子屋教室支援開始



2007年【カンボジア】スラムの子どもたちのための寺子屋教室支援開始

2008年

【ベトナム】ハイフォン市児童福祉関係職員研修実施

【ラオス】滋賀県でラオス国立大学図書館長招聘研修

【ラオス】44か所にコミュニティ図書館・図書室設置

2009年

【ベトナム】ハイフォン市の要請を受け障害児に関する調査実施

【ラオス】セコン県子ども文化センター設立支援

2010年

【ラオス】ノンセンチャン村小学校図書館、タトーン村小学校図書館建設

エファが支援者の皆さん、そしてラオス、カンボジア、ベトナムの子どもたち、先生、保護者の皆さんと歩んだ20年の主な活動を紹介します。「あの頃」に思いをはせてみませんか？



S.C.A.D.P.代表

2011年カンボジア・紛争により公教育が遅れている地域での寺子屋教室を支援  
「プレアビヒア州はカンボジアの中でも内戦が最後まで続いた辺境地にありません。そのような恵まれない状況下においても、子どもたちへの教育こそが、貧困を脱却し、地域の未来を切りひらくための重要な鍵だと信じています。皆さまのご支援は、辺境地で暮らす子どもたちにとって大きな励みとなっております」  
イム・ソカリーさん



● 【ラオス】障害児を対象とした新規事業調査実施  
【カンボジア】新規事業「農村部の障害児のライフスキル向上プロジェクト」がスタート

● 2022年  
【ラオス】新規事業「思考とスキル向上のための読書推進プロジェクト」がスタート  
【カンボジア】協働で事業を実施しているSCADPが2024年度での解散を決定

● 2023年  
エファは、その時のニーズにより事業を実施してまいりました。終了した事業もありますが、その経験を活かしながら新しい事業を行っています。

現在実施している事業・2024年～

ベトナム

アジア子どもの家奨学金基金  
毎年、経済的に困難な状況にある子どもたち約70人に奨学金を提供しています。

カンボジア

国立幼稚園教員養成校奨学金  
幼稚園教諭を目指す学生へ奨学金を提供しています。

プレアビヒア児童保護施設  
22人の子どもたちに対し制服と文房具を寄贈しています。

国境地域の寺子屋教室支援  
5か所の寺子屋教室に通う子どもたちへ文房具を配布しています。

プレアビヒア奨学金基金  
経済的な事情から学校に通えなかった、成績優秀な子どもたち3人に奨学金を提供しています。

農村部の障害児のライフスキル向上プロジェクト  
36人の障害児が放課後に学べるチルドレン・スタディ・クラブを運営しています。また行政、教員、保護者に向けた障害者の権利などを学ぶ研修会を開催しています。

ラオス

ビエンチャン都立図書館運営管理支援  
平日9時～18時、土曜日9時～12時の開館時間延長に伴う時間外手当や図書購入費の支援をしています。

学校図書館・図書室の支援  
3校の小学校図書館建設整備。4校の図書室への図書や備品の配布、図書館担当教員の育成を行っています。

図書管理システム導入  
ラオス県立図書館へ図書管理システムの導入を行っています。現在5館に導入しました。今年度はルアンパバーン県立図書館への導入を進めます。

思考とスキル向上のための読書推進プロジェクト  
バサイ小学校(全校生徒75人中、障害児21人)とサバントング・ヌー小学校(全校生徒74人中、障害児29人)の2校を対象に図書室運営、移動図書館を行っています。



2023年【ラオス】 フェイトム村小学校図書室

● 2014年  
【ベトナム】ハイフォン市障害児支援開始  
【カンボジア】カンダール州就学前教育事業を支援



2014年【ベトナム】ハイフォン市 障害児クラブ設置式

● 2015年  
【ラオス】ナーハンケー村小学校建設  
【ラオス】サンパンナ村小学校図書館建設

● 2016年  
【国内】認定NPO法人認定  
【ベトナム】ハイフォン市タイフン村に障害児クラブの設置  
【ラオス】ビエンチャン都立図書館10周年式典

● 2017年  
【ラオス】ファパン県の14の学校に図書室を設置  
【カンボジア】小学校3年生まで受け入れていた寺子屋教室で5年生までの受け入れを開始



2018年【カンボジア】カンダール州 学童保育園運営支援

● 2018年  
【ラオス】ビエンチャン都立図書館で利用者を増やすための広報パンフレット制作支援  
【カンボジア】カンダール州で学童保育園の運営支援

● 2019年  
【ラオス】県立図書館に図書管理システム(PMBシステム)導入支援を開始  
【カンボジア】プレアビヒア州イエン村の寺子屋教室修了生に奨学金の支給を開始

● 2020年  
【国内】新ビジョン・ミッション・バリューを策定  
【ラオス】ビエンチャン都サントン郡にある4校の小学校に図書室を整備

● 2021年  
【ラオス】新型コロナウイルス感染症の影響で4月から翌年2月まで学校閉鎖

前頁の特集に続いて、2014年から2023年までの主な活動と、現在の取り組みを紹介します。



自ら声を上げることが難しい子どもたち、とりわけ障害があるがゆえに取り残されていく子どもたちの存在に目を向け、彼らが自らの力で生き抜く術を身につけていくために必要な教育の私たち、学校や地域、家族のあり方を問う一年となりました。

2024年には、オンラインとICT(情報通信技術)を活用し、誰にとってもアクセシブル(利用のしやすい)な図書や教材を開発していくのが目標です。

2023年12月中旬から今年最後となる活動現場を訪問してまいりました。カンボジアの放課後スタディクラブ、ラオスのインクルーシブ教育を実践する小学校で、障害がある子どもたちが隔たりなく学び、遊んでいる姿が瞼の裏に焼き付いています。学校に通うことはおるか、家からも出られないまま暮らしている子どもたちも多い中で、健常児と一緒に、変わらずに歌い、跳びはねて、人前で表現している彼ら、彼女たちの姿。一人ひとり障害は異なり、伴うハードルがあるのですが、友だちであったり、先生であったり、周囲の人々の「意識」の在り方次第で、そのハードルは低くなり、ときにとり払われることさえあるのです。

教授法、教材教具、教員研修もまさにこれからです。私たちエファもその一助となる取り組みを行ってまいります。そして、支援する立場になるのみでなく、活動先の先生、生徒たちからも真に包摂した教育や社会とは何かを学びたいと思います。日本のみなさんにそのような側面もお伝えしていけるようがんばってまいります。

すべての子どもたちが可能性と創造性を発揮し、「自分ものごと」を描ける社会に。

これからもどうぞエファとともに歩んでいただきますようお願いいたします。

### 障害がある子どもたちへの教材開発

開発途上国に暮らす障害者が利用可能な書籍(点字、音声、大活字本など)は非常に限られ、毎年出版される本の中でわずか1%以下と推定されています。世界盲人連合(WBU)はこの状況を「本の飢餓(Book Famine)」と名付けました。カンボジアとラオスで現地の図書館、出版社、書店の調査を行いました。障害がある子どもたちに適した本は皆無でした。

エファは、視覚障害者のほかに学習障害、知的障害、精神障害の方にとって有効であることが国際的に広く認められているマルチメディアDAISY(デジタル録音図書)の制作を進めます。将来的には、現地の人たちが教材を制作するためのロードマップを考え、教材開発の中期計画を描いていきます。



### 外国ルーツの子どもたちへの支援の開始

海外で普及展開を開始し始めた、障害がある子どもたちのためのマルチメディアDAISY開発。そこで得られる知見や技術を生かして、日本で暮らす外国ルーツの子どもたちに多言語対応したマルチメディアブックを届けていきたいと考えています。多文化・多言語環境の中で育つ子どもたちにとっては、日本語習得の難しさに加え、親子の間での母語継承が大きな壁となりつつあります。増え続ける外国ルーツの人々が、自らの権利を享受し、社会的な責任を果たし、共生社会の一員として暮らしていけるよう、エファもできる支えを模索していきます。



# アジア ライブラリ

カンボジア

まちかど



**彼は何をしているのでしょうか？**

カンボジアで麺料理といえば、米粉で作られたビーフンであっさりスープの「クイティウ」、同じ米粉でも、もっちり仕様で、香草や香辛料たっぷりでクセが強い「ノンバンチョック」は知っていましたが、なんとつけ麺もあるというではないですか！

カンボット州の名物だということで、有名店に腰を下ろして待つこと5分。すると目の前に、テーブルに座って何やら手を動かしている男性が（写真左）…今も昔も変わらぬ光景ですが久々に見た気がする。さて問題です、彼はどんなお役を担っているのでしょうか？



**（答え）お箸やスプーンを熱湯で消毒、です。**

あ、つけ麺は最高なお味でした！ かならず次回もリピートします。

## サバイディー

ラオ語で「こんにちは」

### エファの 新しいスタッフを 紹介します



**Name:**  
チッタウォン フォンサワン さん

**Birthplace:** ラオス ビエンチャン

**Position:** 海外プロジェクトコーディネーター

サバイディー！ ラオスのビエンチャンから参りました、チッタウォン フォンサワンと申します。ミンと呼んでください。趣味は料理、野菜・鶏飼育、ジョギングです。

国費留学生として2015年来日し、2016年に東京外国語大学・国際社会学部に所属していました。大学では、日本人と共同に授業を受け、1年目はいろいろ大変でしたが、友達や家族の応援でつらいことを乗り越えられ、大学を卒業することができました。そして、2022年に修士課程を修了して、日本の民間企業に勤めてまいりました。

エファとのご縁があり、2023年の11月1日からエファのメンバーになりました。海外プロジェクトコーディネーターを担当しています。まだ、1か月しか経っていませんが、日々楽しく仕事をしています。職場は家族のような雰囲気、働きやすい環境です。これから携わる事業が増えていくと思いますが、自分ができることであれば精いっぱい努めてまいります。

ラオスは自然が豊かな国であり、文化も人々の表情も緩やかです。ぜひ、ラオスに訪れてみませんか？

## ムペアック

クメール語で「仲間」

エファをご支援  
いただいている方々を  
ご紹介します。



## エファジャパン設立20年に寄せて

エファジャパン顧問 イーデス・ハンソン

各地の山里でドングリを集めてその苗木を植える活動があります。荒地の解消、水源の涵養、多様な生き物たちとの共生等、参加者の願いは色々。でも、木々が互いに手を携え豊かな森となっていく日々を思うだけで心が弾みます。

エファジャパンの活動も全く同じですね。「アジアこどもの家」からスタートし、いま行われている生活の安全の確保とか、本に親しむ機会を増やすことなどは、小さくて地味でも大切な事業です。息の長い、そして丁寧な気配りと支えが必要な仕事です。

「希望」が目に見える形で育ってくるのと周りに影響を及ぼし、意識を変えていきます。後回しになりがちな子どもたちの環境の改善が、大人たちや社会全体の成熟にもつながります。幾度



かスタディツアーにもご一緒に、そうした努力の芽吹きに現地で触れられたことはうれしく貴重な思い出となっています。

専門的な知識や技術はありませんが、私なりにこれからも種蒔きの手助けをしたいと思います。皆様もぜひお力をお貸し下さい。

# アジア ライブラリ

ラオス

まちかど

### 急がば回れ、止まれ

「ビエンチャンの交通量は、増える一方。反して道路環境の改善・拡張が追いつかないので、交通事故も増え続けています。車で移動していると、必ずと言ってよいほどの確率で遭遇するので緊張しっぱなしです。今回も2日連続で3件の事故に出くわしました。」

「そんなに急いでも着くのは大して変わらないでしょーに」

「だよ、それで事故起こしたら痛いばかりか、病院行って、車も修理して、大金失うだけ」

「相手が出てきたら止まって譲ってやればすむ話なのにねえ」

「メンレーオ(まったくくだし)」

車中同乗していたラオス人メンバーの話。

寛容なラオス人なのだから車の運転も寛容に、ですね(わが身振り返りつつ)。

(関)





# 年次総会とエファシンポジウム2024のお知らせ



## 会場

JICA地球ひろば 600号会議室  
東京都新宿区市谷本村町10-5 (JICA市ヶ谷ビル内)

## 日時

2024年6月15日(土)

年次総会 13:00~14:30

エファシンポジウム2024「アクセシブルな社会へ」15:00~16:30

## 【出版書籍情報】

[https://store.voyager.co.jp/special/edod\\_accessible](https://store.voyager.co.jp/special/edod_accessible)  
「アクセシブルブック はじめのいっぽ ~見る本、聞く本、触る本~」

著者:宮田和樹 馬場千枝 萬谷ひとみ

出版社名 ボイジャー

出版年月 2024年4月予定

電子版:1,100円(税込・予定) 印刷版:1,980円(税込・予定)

エファのウェブサイトにて最新の情報をお知らせしています。  
どうぞご確認ください。

2024年6月15日(土)に、年次総会を開催します。また、総会の後にはシンポジウムを行う予定です。会員の皆さまには後日、お知らせをお送りさせていただきますが、ぜひ日程を空けていただけると幸いです。オンラインでもご参加いただけます。

シンポジウムは、読書バリアフリーの下、このたび出版される、注目のアクセシブルブックや電子書籍の可能性を詳しく解説した「アクセシブルブック はじめのいっぽ ~見る本、聞く本、触る本~」の執筆者の皆さん、同書で取材を受けた皆さんをお招きしたトークイベントです。エファの取り組みも掲載されます。シンポジウムの後には、JICA地球ひろば内のカフェにて出版記念パーティーを開催します。17:00~18:30、参加費は3,000円を予定しています。

<https://www.efa-japan.org/>

えんばわ 通巻72号(2024・3・春)  
2024年3月15日発行

発行人:伊藤道雄

編集協力:(株)MAG MAG、筋田清二

発行所:特定非営利活動法人エファジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階

TEL:03-3263-0337 FAX:03-3263-0338 Email:info@efa-japan.org

<https://www.efa-japan.org/>

※エファジャパンは、全国の地方公共サービスに携わる人たちが応援する、国際協力NGOです。アジアの子どもたちへの教育文化支援・福祉支援を行っています。

※認定NPO法人であるエファジャパンへのご寄付は、税制優遇の対象です。